



水質調査から 6月6日(木)

17期生38名は、総合的な学習の時間のテーマ「環境」について学んでいます。今回は、環境教育インストラクターである川口朋久氏をお招きし、環境問題や排水処理等についてお話を聴き、実験を行いました。汚れ具合を数値化することで課題を発見しやすいメリットがあります。そのようななか、日高川の水はきれいであることが分かりました。

私たちの住むまちにある日高川。身近にある自然が“きれい”だと知ること、嬉しい気持ちになりました。今後、さらに環境についての調べ学習を行っていきます。



防災キャンプ 6月14日(金)～15日(土)

第2学年16期生が、総合的な学習の時間を通して、1年次より学びを継続している防災学習。今回は、宿泊を伴う避難所運営を体験することで、避難所で中心的役割を担って活動できる知識や行動力を身につけることを目的としました。また、避難所が抱える問題点について改善に向けてできることを考えました。

かまど体験や避難食の夕食後に、県土砂災害啓発センターの岐山雄亮先生を招いての講演会を実施しました。避難所レクリエーション「リーダーになろう」は、実際の避難所において小さなこどもたちを楽しませる時間を持つことを意図として1つの班が企画しました。

21時には、垂直避難訓練を行いました。その際、自分達の動きや態度から課題が見られたことを覚えていますか。“継続は力なり”とよく言われますが、その通りであり、前向きにその時の活動に組み込み、学習に身も心も向けること、そして毎日毎日同じことを積み重ねることにより、さらなる高みを目指すべきです。

パーテーションを設営し、教室内で就寝となりましたが、高温のため寝付きにくい状態ではありましたが、実際避難所で生活することになった場合の状況や気持ちの在り方などを短時間の防災キャンプのなかで気づくことができたのではないのでしょうか。

早朝には、中庭で防災ダンスをすることで身体を動かし、朝食後は、まとめ学習に取り組みました。

現在も、6つの班に分かれて各々で防災についての学びを深めています。先日、防災ポスター班は、いくつかの小中学校、市役所、町役場、市立図書館等に4～5種類のポスターを掲示しています。校内3カ所にも掲示していますので、ぜひ読んでください。

